上田地域もの・こと交換制度
蚕都くらぶ

ま～ゆ

蚕都くらぶ・ま～ゆ会報 No.105 2017年12月10日発行

わたしたちの願い

蚕都くらぶ・ま～ゆという上田地域通貨モノ・コト交換制度は、地域で暮らすひとびとがお互いに助け合って楽しく暮らすための制度です。

私たちは、この地域の豊かな自然やひとびとの知恵・技術・経験・人柄を地域の宝と考えます。その宝を活用することで、より豊かな地域と人間関係を目指しています。

蚕都くらぶ・ま～ゆは、地域通貨を使って人と地域をつなぐシステムです。

- ❖ 人と人との新しい関係が生まれます。
- ❖ 自分の能力を再発見できます。
- ❖ 人が活き活きすることで、地域が元気になります。

香都くらぶ・ま～ゆ
総会＆ま～ゆまつり

素晴らしい秋晴れの一日ま～ゆ16周年総会＆ま～ゆまつりを60名余の参加で無事終えることができました。

朝早くからランチのおはぎやま～ゆ汁をつくってくださった方、お習字、デッサン画、陶芸作品などを飾り付けて下さった方、テーブルを設営してくださった方、会報綴じ込みしてくださった方、会費受付けつけ、司会など色々な役割を分担し自主的に運営してくださったみなさんのお蔭でスムーズに進行できました。

体ほぐしのラジオ体操から

これぞま～ゆの力ですね。みなさん、ありがとうございました。

ごんべえ新米でつくったおはぎ（あんこ、クルミ、ゴマ）が並び、具だくさんのま～ゆ汁、レタス・トマトサラダ、リンゴ、柿、赤かぶの酢漬け、白菜漬などと、持ち寄りのごちそうがテーブルの間をくるくる回りました。

みなさん、ありがとうございました。

◆ま～ゆ汁用に野菜・果物を提供して下さった方

ぶんちゃん、きよちゃん、民ちゃん、峰ちゃん、林ちゃん、ミーすけ、ゆうさん、陶吉、まこちゃん、ケセラ

◆11 月のハッピーバースデーは、殿下、のせ、都々平、パレちゃん、まこちゃん、ハラマキ、みよちゃんの７名でした。今年１番の多さです。総会でお祝いしてもらえるので 11 月生まれはいいな～の声も。

◆ま～ゆ寄付者　　（写真右から）にゃんこ先生10万ま～ゆ、都々平さん5万ま～ゆ、ケセラ2万ま～ゆ。たくさんの寄付をありがとうございました。事務局で各イベントのお手伝いに通貨ま～ゆを有効に使わせていただきます。みなさん、お助けをよろしくお願いします。

№1　ケセラ

◆各プロジェクトの報告をしてくださった方々

みんなの家（辛口）田んぼ（ごんべえ）秋和菜園（ねこ）味噌（ミーすけ）れくれーしょんレクリエーション（トット、ねこ、ちゃーこ、ミーすけ）手作り小物講座（ミーすけ）ま～ゆシネマ（ケセラ）会報（都々平）上記の他にもいろいろ盛りだくさんに楽しんだ1年でした。

◆モノ・コト交換ま～ゆ市は出店者が多くて賑やかでした。

※たくさんの品を用意して出店してくださったみなさんありがとうございました。売れ残ってしまった方、申し訳ありませんでした。これに懲りずにまた出店をよろしくお願いします。

◆ま～ゆ市出店者

・ハル（ベーグル）・コロボックル（自然食品）・辛口屋（お茶）・宮沢農園（シクラメン、クルミ他）・吉田農園（各種野菜）・のこのこ―ば（木のおもちゃ）・合原農園（卵、ジャガイモなど）・ごんべえ屋（新米、古着など）・かっこう（鍋、サラダボールなど）・にゃんこ先生（本、バッグ）・ケセラ（バッグ、スカーフ、古本など）・ヒデさん（古本）・今井（カボチャ、柿など）・ミーすけ他（手作りバッグ）・まこちゃん（リーフレタス、トマト）・ま～ゆ屋（寄付された野菜、リンゴ、柿など）

◆最後にゲーム“フルーツバスケット„をしました。

今日はあきちゃんファミリー、猫太郎さんとそうた君、かいちゃんファミリーとお子さんもたくさん来てくれて賑やか。老いも若きも時間を忘れてゲームに夢中。

ま～ゆ田んぼの配当米「どっこいしょ」

◆新入会員（左から）トムさ、ひなちゃん、ちーちゃん。と孟さん（写真4ページ）。これからどうぞよろしくお願いします。

皆さん、また心新たにどうぞよろしく願いします。

世話人会　ケセラ（安井啓子）

甲田はきもの店　No.39 甲田

●ご利用金額の10％まで「ま～ゆ」をお使い下さい

●靴、草履、下駄などの修理は20％まで使えます

上田市中央4-6-24

TEL22-1272

◆お客様

千葉大学大学院生の孟さん、学生の陳さん（二人は中国の留学生）学生の高橋さん（塩尻出身）の3人が地域通貨やま～ゆの活動を研究しに来られました。

みなさんと交流でき美味しいごちそうも食べられ、とても楽しかったそうです。孟さんはま～ゆ会員になられました。ちょくちょく上田に来てま～ゆの活動に参加したいそうです。国際交流ができますね。

ま～ゆ感想

陳誼菲（写真中央)と申します。

今回のま～ゆ市に参加させていただき、すごく感動していました。

日本は生活経験の全く無いところでした。初めて留学生として生活の慣れていないところがまだたくさんあります。

ま～ゆ市に参加していたとき、みんなが集まって、美味しい料理を食べながら、色々交流ができました。

すごく気ついたのは、ま～ゆで皆さんは私をニックネームで呼ばれていました。

私のことを「楠楠」（中国語の発音：nannan）ニックネームと呼ばれたとき、ま～ゆは温かい家族が感じしました。

手作りアップルパイとか、料理とか、たくさんもらいました、本当にありがたいです。

私は中国でずっと北京に住んでいて、大都市での暮らしに不安が常に感じていました。

ま～ゆで温もりのある人のつながりが感じることができました。

そして、イベントや、ミニマーケットなと、みんなさんは活発な交流しています。

大人だけではなく、子供達にも参加することにより楽しく影響を与えると感じました。そして、ま～ゆ交換か成立したら、最後で「ありがとう」と言って握手するを通じて、モノの交換を達成してだけではなく、仲間意識、人に役立つことの達成感なども生まれます。ま～ゆは本当に温かいお金と感じしました。

ま～ゆ感想　　**高橋真央**(写真左)

事前にいただいた資料から、ま～ゆは人と人のつながりを大切にしており、自然と共にある生活や培ってきた知恵を活かし、本当に価値あるものを認めていこうとする姿勢が感じられました。実際、総会に参加してみると、幅広い年代の人が各自の経験や個性を活かして楽しんでいる姿を見て取ることができました。

その中に、あんこづくりについての話が大変興味深いものでした。

私が参加させていただいた総会の昼は、皆さんが持ち寄った料理や果物が並びました。誰の料理か、どんなものか、おいしさを共有しながら会食が始まりました。

その料理の中にあんこのおはぎがあり、班であんこについての話になりました。

あんこを上手くおいしく煮るのは難しく、コツがいるとのことで、砂糖を早く入れすぎると硬くなってしまい、遅すぎると崩れてしまうそうです。

今回いただいたおはぎのあんこは、大きめな小豆が崩れておらず、程よい甘さでした。伺ったところ、あんこづくりが大変上手な方がおり、誰に頼まれるわけでなくとも毎年行われる餅つきのあんこも、今回のように作っているとのことでした。きっと、あんこのみならず、各自作ったものを「おいしいね」と言って食べ合うことにより作り手の幸せにつながり、意欲が湧くのだろうなと感じました。

街の気軽なマルチメディアショップ
㈲ 伸和印刷　No.57 中澤
●ご利用金額の 10%まで「ま～ゆ」をお使いください
●今、流行りの自分史を作ってみませんか?
●会議資料作りに便利な、製本機能付き
高速デジタルコピー機導入しました
上田市国分1-7-12 TEL22-7710 Fax22-7718

蕎麦処 いちや　No.312 牧野隆彦
●お食事代の 5%をま～ゆでお使いください
●環境やお財布にもローインパクトな蕎麦屋を目指しています平日は予約制となっています
※前日までにご予約頂いたお客様には一品サービスします
上田市住吉1160　TEL25-1841／携帯

感想文　　**孟　晗**（モウ ガン）

いままでの地域通貨に関する研究では、地域通貨の発行方式や、地域通貨の発行理由などによって、地域通貨を類型化するのが多かったです。しかしながら、同じ類型に属する地域通貨にしても、まったく同じなモノが存在しません。それは地域通貨の魅力の一つだと言えましょう。例えば、「ま～ゆ」と同じの「通帳型」の地域通貨は、藤野の「よろづや」や、鴨川の「あわマネー」を挙げられますが、その2件とも、該当地域に移住しにきた人が多く、移住者を中心で活動する特徴がみられます。「ま～ゆ」はそれらの例と違って、もとのコミュニティのメンバーを中心で活発な活動することは最初に興味をお持ちしたところです。今回の総会に参加させていただき、肌で感じたのは、「ま～ゆ」の温かさ、と緩やかな雰囲気です。「無理にさせない」「やりたいことがあれば、みんなでやる」などの伺ったお話や、温かい「誕生会」や、楽しそうなゲームや、プロジェクト代表者方々の報告などのことからよく感じました。「上から」「外から」ではなく、メンバーたちが中心にして、内発的なまちおこしのあり方を拝見しました。

また今回実感した2つ目のポイントは、「ま～ゆ」は「地域の人は一番の真の宝」というところです。今日の日本地方（母国の中国においても、これからもっと急速に深刻化すると思いますが）は過疎化や少子・高齢化をはじめ、様々な問題に直面しています。それらの問題を「問題解決」の視点から考えると、「解決策」と足りないものを外から持ち込みより、地域に潜在化している「資源」を再認識し、それを活かして、豊かな生活を自ら創生することが「素敵」ではないかと思っております。「ま～ゆ」のように地域の方々が持っている知恵や熱意（地域愛？）を大切にし、それをさまざまプロジェクトや、イベントを通して、顕在化にするのが大変勉強になったところの一つであります。

「ま～ゆ」の経験をもっと知りたい、そして、論文という形にしても、中国に帰っても、地域の問題で困った人々に伝えて行きたいと思っております

10月のま～ゆ市

10月10日のま～ゆ市は前月と同じ中央公民館視聴覚室で行われました。
モノ・コト交換市と秋の歌も、インフォメーションも、そして DVD 視聴までも前と同じ『自立する村へ』です。2回見るとより理解が深まります。
ひとつ違うものがありました。それはハッピーバースデイ(当たり前)で今夜祝福されたのは ごんべえさんただ一人。
そんなま～ゆ市でした。

会報の広告欄を活用しましょう

1年間 1200 ま～ゆで、あなたのお店の広告が掲載されます。

会員にとって「どうせ買うなら仲間の店から」の連帯感が強まり、ま～ゆ交換が一層活発になります。

今年度納めの 10 月のカフェま～ゆ廿日市は〝みんなの家文化のつどい〟を開催。

6月の“陶芸教室„、7月の“絵画教室„、9月の“書道教室„で得られた成果を陶吉さんのセンスあふれるレイアウトで展示。どの作品も個性がにじみ出て、味わい深い作品です。

パレちゃんが制作中の紙芝居や、リンちゃんの“書„も飾られてプロ級の作も並び、一段と輝きを増した2階の特設会場でした。

昼食は「おこわ」にポテトサラダが付き、ま～ゆ味噌にま～ゆ豆腐とキノコたっぷりの「ま～ゆ汁」をいただきました

ベーグル屋 ハル　春野仁宣・里美

● 県産小麦と天然酵母の
ベーグル＆ヴィーガンブレッドの店

●1回のお買い物(500 円以上)で
50 ま～ゆお使いになれます

上田市中央 2 丁目 11-19

Tel & Fax: 0268-75-0777

chatte-sato@mvb.biglobe.ne.jp

http://www.fsf-haru.com

みんなの家 文化のつどい

午後は、ま～ゆ会員の多様な才能に酔いしれる時間。“隠し芸„の数々が登場。

先発はごんべえさんの歌唱指導で「もみじ」を輪唱。次はお馴染みきみちゃんの三味線「武田節ぼか」を味わい、きょんさんの紙芝居「「てんぐのうちわ」（堀内稔絵）・「たつたろうの一生」（おばたくみこ作）」、ケセラさんの絵本朗読と続きました。その後は、かっこうさんと仙ちゃんのハーモニカ初共演で「月の砂漠・コンドルは飛んでいくぼか」を楽しみ、トリは都々平さんの落語「短命」で締めくくりました。

玄人はだしなのか素人はだしなのか、出演者はそれぞれ満足そうにノーギャラで務めてくれました。「おひねりのひとつも」なかったです。これからは「ま～ゆ」でいかが？

都市・建築工房 No.130ヒデさん
（竹内秀夫）

- トラブルの多いリフォームだからこそお任せください
- 家のことなら何でもお気軽にご相談ください
- 消費税分「ま～ゆ」が使えます

上田市御所274
TEL28-7532 fax 28-8190

廿日市・みんなの家のこの一年

みんなの家 №188 **リンちゃん** 廿日市 №114 **辛口**

今年の廿日市は4月の餅つきと会報 100 号のお祝いに始まり、10 月のま～ゆ内タレントの大文化祭で幕を閉じました。何事もみんなで相談しながらやっていくこと、イベントを参加型・体験型にすること、若い人々の参加を目指すこと等を掲げたのですが、まだ前途遼遠の部分もありました。しかし内容的には参加された方々の満足度は高かったのではないかと自負しております。

経営的には、ランチを直営方式にしたことにより、原材料以外の経費が殆どなくなり、約7万円程度の利益を上げることができました。今年の「みんなの家」の改修費（主として材料費）をカバーできる金額になりました。

「みんなの家」では、最大の問題だった湿気（土台の腐食・床下の風通しの無さ）を取り除くため、瓦と砂を土嚢(どのう)150 袋以上掻(か)き出し、床を板張りにする工事がほぼ終わりました。来年は、排水溝・トイレ等の整備、キッチンの内装化などが行われる予定で、本格的利用が可能となります。

このような成果を得られましたのも、直接間接にご参加・ご支援下さったま～ゆ会員のお陰によるもので、スタッフ一同心から御礼申し上げます。

来年はさらに工夫を凝らし、諸事業の幅と奥行きを広げてまいりたいと思います。皆様の積極的なご提案、ご意見をお待ちしております。

ありがとうございました。

北国街道あるきⅦ

10月26日（木）。幸い、お天気にも恵まれ、参加者8名（ミーすけさん、ちゃーこさん、ヒデさん、かっとまん、辛口さん、まるちゃん、きよちゃん、にゃんこ先生）は2台の車に分乗して坂城町役場まで行き、歩き始めた。そこへ、たーみねーちゃんも飛び入り参加！

坂木宿（昔の表記）跡を先頭に立って歩いていた私が、しっくい壁に記された家名を「たかさ」と声に出して読み、「ふうむ、珍しい苗字だなあ」とうなっていたことは、誰も知らない。（正解は「さかた」です。右から左に書いてあったんですね。）

ここは現在の坂城町商店街。とあるクリーニング屋さんの前で、案内役のヒデさんが「にゃんこ先生ならこの面白さがわかるでしょう」と指さす看板には、「DORAIKURIININGU」とある。思わず吹き出した。片仮名の「ドライクリーニング」を読めない人のために、親切にアルファベットで表記したのだろうが、いったいこれを見て、誰が何を理解できただろう。もはやなんの意味もなさないアルファベットの羅列。ドライクリーニングという言葉が英語のDRYCLEANING だということを知らなかったのか？（今回の街歩きで一番面白かったのはこれでした。）

下戸倉宿下の酒屋（築 250 年）

お昼は、きれいに改築された白鳥園の二階で銘々が好きなものを食べ、それから温泉につかりました。北国街道歩きで温泉に入るのは初めて。リフレッシュした後、再び歩き始め、戸倉駅の近くの「萱」という蕎麦(そば)屋＆（元）酒屋に寄って、戸倉駅から坂城まで電車に乗って（ミーすけさんは上田駅までの切符を買ってました。本当に愛すべき人です。）帰ってきました。

毎回、企画と下見をしてくださるちゃーこさん、ミーすけさん、ヒデさん、お世話になりました。

№136 にゃんこ先生

平成 29 年度 秋和ま～ゆ田んぼ日誌　№2 ごんべえ

堆肥播きと藁切り秋起こしを残して今年の米作りが終わります

10月の収穫時の天候不良に悩まされた年でした。結果的には収量は微減と言ったところです（育苗の失敗かも知れません。育苗5割と言いますから）配当した新米の味はいかがだったでしょうか？

◎育苗から田植までの検証

3/25　種もみ（収穫米適当に）の塩水選比重 1.15（普通 1.1）浸漬開始（積算温度 100 度。5℃の水で20日程、毎日水替え）△

4/14　25℃風呂で催芽○

4/15　播種（プール育苗。昨年 70g/1 箱→今年 60g/1 箱）△

4/22　発芽、バラつき多し。（気温高めの為、有孔ポリ剥ぎ寒冷紗のみ）△

5/21.　5葉確認してプール注水（成育にバラつき多し。南北の苗箱を入れ替える。徒長苗を篰（ほうき）で頭撫で抑制する）△

5/22～ 代掻き（田の草対策で 2 度掻き）

6/3・4　田植え（スケジュール調整で 2 班に分かれて、計 19 名参加）18 枚用意した苗が 260 坪しか植えられなかった。（昨年は 15 枚で 300 坪）

◎原因　・種籾に問題はなかったか？（採種の方法）

・ハウスの温度管理・播種からの高温による徒長でひょろ苗になった・植え方の不慣れ？

◎総括　・育苗は本当に難しい。アドバイスをお願いします。種籾は畦際の優良株を陰干し用意しました。来年も挑戦しますぞ！

味噌プロジェクトだより　№2 ごんべえ

イメージ画像

今年の大豆の収穫が 11 月末に終わり、(12 月 2 日現在)ミーすけさんが乾燥不足を調整するため天日干しをしてくれています。約 300 坪作付けたのですが収量は昨年の 200Kg より少なく 150Kg 位でしょうか。何とか味噌用に足りると良いのですが…

原因として考えられるのは、いわゆる葉ボケ。窒素分が多いためと雨の多い天候による影響で、葉と茎が成長し過ぎて実にならないことです。

しかし一切の化成肥料を使わず一度も消毒しない完全無農薬の“麹いらず大豆„、なんと愛おしい薄緑色のダイヤの様な粒のことか。（虫食い傷だらけの）

来年は作付を 400 坪に増やそうと思います。播種・草取り頑張ろう！

ま～ゆの納豆・お豆腐・おからで幸せ　№417 月

わたしは、二十歳頃迄京都で生まれ育ったので、納豆は苦手でした。でも、千葉の農家に嫁いで、藁（わら）に包まれた納豆を食べ、美味しさを知りました。

今は、自家製を続ける家がほとんど無くなり、何かにつけ暮らしと食べ物の大きな変わり様に自身も慣れてしまっています。そして既製品の納豆の固さ、豆の味の無さからか、再び納豆から縁遠くなっていました。

でも、ま～ゆ納豆に巡り会え、大粒でふっくら軟らかい粘りのある美味しさに再会！再び納豆が好きになりました。

映画「あん」で、樹木希林さんが小豆を煮ながら小豆に「あなたは、どんな所でどんな風に吹かれていたの」と、語りかけていたのを思い出し、納豆・お豆腐・おからさんに心で話しながらお料理して、ありがたくいただいております。

ま～ゆ会員にききました。

死後の世界

№130 建築よろず屋の**ヒデさん**

私たちが暮らしている世界は立体の 3 次元に時間をプラスした 4 次元の世界です。死ぬというのは 4 次元の世界から 5 次元の世界へ移行することだと私は考えています。そして、私たちが暮らす 4 次元の世界から低次の 3 次元、2 次元、1 次元の世界を見ることはできますが、高次の 5 次元の世界を見ることはできません。ですから、亡くなって 5 次元に移行した人たちは、4 次元の私たちの世界を見ることはできますが、私たちからは見ることができないのです。

自分が困ったときに、見えない力に助けられた、と感じることはありませんか？それはきっと 5 次元の世界に移行した自分に近しい人たちが手を差し伸べてくれたんだと思います。そういう人たちに守られて自分は生かされているのだと感じています。いつか、そういう人たちと再会できることが私の楽しみです。

№263 **亜季**

私が死んでしまって、この世をさまよっている 49 日の間、自由に飛び回って、いろんな所へいってみたいな～♪

たとえば、飛行機に乗って外国に行ったり、総理大臣に密着して何をしてるかスパイしたり(笑)、山にスィ～と登って景色を堪能したり♪

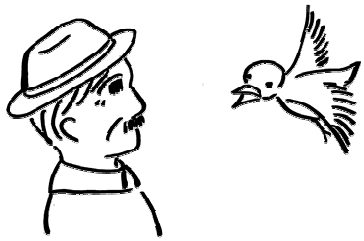
そしていざあの世へ行ったあとは、天国なら悲しみや苦しみのない所だと思うので、幸せに暮らすのだろうなぁと。亡くなったいろんな人に会ってその後の話を聞いてみたいな。

特に、死産してしまったお腹の中のあかちゃん(かんちゃん)に会いたい!!会って抱き締めてあげたい。

天国よりの使者か

No2 **ごんべえ**

日頃あの世とか死後の世界にほとんど興味を持たないぼんくら爺さんのごんべえです。今回のお題を頂いても何を書いたら良いかイメージが湧きません。日頃その方に熱心な女房がいろんな本を回りに置いて協力してくれましたがやはりだめです。



諦めかけていた一週間ほど前、この時期まで延ばしに延ばしていた薪割をしていた時のことです。何かを感じふと目を上げると、すぐ前のトラックの荷台の角に、見慣れない可愛らしい小鳥が、じっとこちらを見ていたのです。割った薪を放り投げても逃げようとせず、丸い目をぱちぱちさせ首を傾げて何かを話しかけているような感じがしました。

その夜女房に話すと「それは天国から誰かが会いに来たのよ」と私には想像もつかないような解釈をしました。「そーだあれは 11 月 27 日が命日のお祖母さんに違いない。天国から会いに来たのだ」と、とっさにそう思いました。

翌日薪割を続けていると又昨日の小鳥が現れました。「今日は親父かな、お袋かな？」と思って見ていると、割った薪の上で何かを啄(ついば)んでいるのです。なんと薪の中に入っていた虫の幼虫を食べていたのです。私のあの世は一日にして現実に戻ってしまいましたが、確かに一瞬天国からの使者だと感じたのです。

因みにミーすけさんに聞くと山雀（やまがら）ではないかということでした。

あの世について

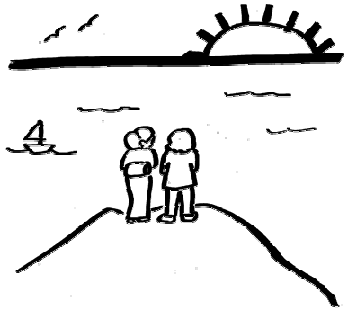
№71 **丸山恵子**

私はすぐ先祖のことが浮かぶ。子供の時、土蔵の中で遊んでいたら、我が家の昔の写真がたくさん入った箱を発見、時のたつのも忘れ、一枚一枚ジーっと眺めていたことを今でも思い出す。その時一枚のそれはとても美しい人の着物姿の写真だった。母に聞いたらこの家からお嫁に行ったらしい？とあやふや。子供ながらに「きれいな人」と鮮明に頭に残っている。私があの世に辿(たど)り着いたら、この美しい人を一番先に探す。

そして他の先祖たちの今の姿を確認し、「その後お元気でしたか」と尋ねてみる。私は昭和、平成のめまぐるしく生きた時代を海の見える丘でゆっくりと話したい。

後、幾年生きるか分からない未来、一日一日を健康で過ごし、先祖にたくさんの土産話をリュックに詰めて逝きたい。そうそう六文銭も。

私はあの世とは楽しいところと信じている。



あの世は「蚕都くらぶ・ま～ゆ」に瓜二つ

№183 金井**ふかちゃん**

あの世についての考え方は、宗教観や死生観に深く関わっていると思います。

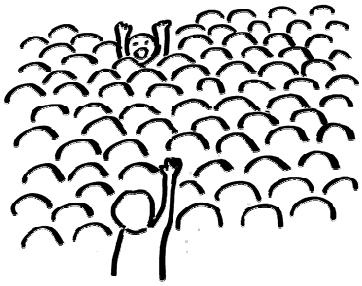
諸説ある中でごく単純化して考えてみますと、私が関係した宗教では、

＊ 民族神道(神社);誕生⇒お宮参り他⇒八百万の神に護られながら家の守護神となる

＊ キリスト教;誕生⇒乳児洗礼(母がカトリックで私はヨゼフ)⇒天国、地獄、錬国など

＊ 仏教;菩提寺に先祖の墓⇒輪廻転生⇒何に生まれ変わるかは謎

＊ イスラム教;(私は無関係)⇒あの世は無く土に還る



不遜ですが、数を数えてみますと、有史以来の世界の死者数はおよそ 120 億人、日本では各家の守護神は何千人といるはずで、私が見知っているのは祖父母、父母、3 人目の子の 5 人だけです。

この様に亡くなった人々で溢れ返っているあの世で見知ったファミリーや知人に会える確率は極めて低く、夢で会うか思い出すのが精いっぱいではないでしょうか。

でも私はあの世はあると信じていて、「蚕都くらぶ・ま～ゆ」会員の様に奇跡の出会いがきっと起り、助け合いながら楽しく活き活きと暮らしていけることを楽しみにしています。

№421 **松井務**

私は、クリスチャンなので「あの世」は理解出来ない。しかし、復活後の世界は知っている。この世の命と生活は仮の姿。「我らの国籍は天にあり」と告白する様に現世は一時、天国は永遠である。この信仰が殉教をも覚悟で世界を変えて来た。

聖書には「心の貧しい者は幸いである」とこの世の価値観に対して逆説を教える。事実真理はその通りである。「泣いている人は幸いである」とも教える。それは、慰められるからと説明する。では、キリスト教は来世の宗教か？しかし、来世に望みを置きつつも現世の宗教である。

天地創造の父なる神を愛するのと同様に隣人を愛せよと教えるからだ。この教えは横浜という都会の生活を送っていた時には理解出来なかった。しかし、農業者となった現在は理解出来る。人は一人では生きていけないし農業は隣人との協力関係無しには出来ないからである。

ま～ゆ会員にききました。

あの世について　No.226 のだま

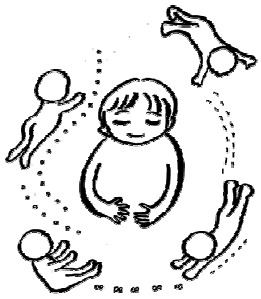
いま高２の息子が生まれた時は丸２日かかって、たいへんなお産でした。が、いざ生まれてみるとそれまでの痛みは忘れて、赤ちゃんが隣の部屋からすっとやってきたかのような感覚。

あれ？どこからやってきたの？と不思議でした。

生まれてくる命はあの世からやってくるのかもしれないと思うようになったのは、息子が３歳の頃から生まれる前の話をするようになったからです。

「空の上から見てた」とか、「生まれる前は1人に1つ部屋があって神さまと遊んでた」と言うので、神さまはみんなの部屋を回ってくれるの？と聴くと「ううん、1人に1人の神さまがいるの。今もそうだよ。そこらじゅうに神さまがぎゅうぎゅうづめにいるよ」と答える息子。

そうかー、あの世でもこの世でも神さまは1人1人についててくれてるんだな～と安心感に包まれたのでした。



お産に時間がかかったため周囲は命の心配をしていたそうです。(わたし自身はただ早く生まれてほしい、早くこの痛みから解放されたいのみでしたが。笑)

生まれる時はあの世から、亡くなる時はあの世へ、ぐるぐる回っていて、お産は赤ちゃんにとっても母親にとってもあの世とつながっているドアなのかなと思ったわけです。

あったら嫌だなぁ　あの世なんて

No.50 都々平

「あの世なんてありえない」そう思って(信じて)います。永遠の過去(生まれてくる前)から突如“この世„に現れたので、死ねば永遠の未来に戻る。ただそれだけのこと。

とびぬけて頭脳が発達した〝ヒト〟という生物は「死にたくない」という煩悩(表現が正しいかどうかわかりません)によって「不死は無理、ならば死後につなげたい」と考えたのでしょう。これはご都合主義に外なりません。

百歩あるいは万歩譲って「あの世がある」と仮定しましょう。それも平和で楽しい世界として…

○その 1－現世で「顔も見たくない奴」にあの世で出会うなんて嫌だなぁ。考えるだけでぞうーっとします。

○その2－のどかで(多分)メリハリのないあの世の暮らしに飽き飽きするのでは？その場合“厭世自殺„の選択肢もない。では？想像するのも嫌だなぁ。

106号はのテーマは〝初めての○○„です。

次号は新年初の会報です。

〝初○○〟でも何でも、とにかく「**初**」が付けば結構。思い浮かぶことを気軽に書いて寄せてください。

蕎麦屋　つゞき　No.412 近藤 薫

●お食事代のうち 100 円をま～ゆでお使いください
●浅間山麓 700mの自家製・手打ちそばです
●珍しい変わりそばや、箱寿司・蒸し寿司などもあります
●営業は4～12 月の金土日、11:30～14:00 です
◇所;湯の丸ICから山側へ 800m祢津JAの近くです
東御市祢津1308 TEL0268-63-6192

一之瀬鉄工所 No.308 ノセ(一之瀬輝雄)

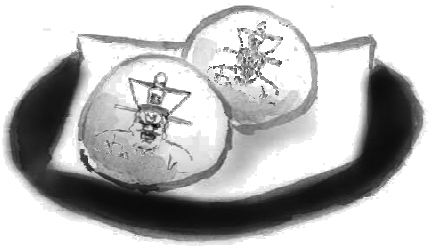
JIS半自動溶接 SN-1V　2級管工事施工管理技師
● 配管工事 ● 車庫・物置製作 ● 板金加工一式
● 10%まで「ま～ゆ」が使えます
どんな小さなことでもご相談ください
上田市７材木町2-7-6
TEL・fax 23-1337 携帯080-1176-1123

落語「あの世」往還記

No. 395 いっちゃ

与太郎　ご隠居いるか～
隠居　なんだ与太郎か。相変わらずバカか？
与太郎　昨日“あの世”へ 行ってきたのでお土産を買ってきた
隠居　なにバカなことを言ってるんだ。あの世は行ったり来たりするところではない
与太郎　先だって長屋の集まりで、三途の川の渡し賃が10％値上げになる噂があるが、誰かあの世に行って止めてくれるように掛け合ってこいと言う話が出た
隠居　それで
与太郎　ところが皆な忙しくって行けねえというんで、棟梁（とうりょう）が、与太郎、暇なのはオメエだけだから行ってこいと言った。途中で何かあったらこれを渡せ、と行って金をくれた
隠居　どうやって行ったんだ
与太郎　なんでも京都の六波羅蜜寺（ろくはらみつじ）という寺の井戸はあの世に通じているというので、そこから行った
隠居　ほう
与太郎　井戸はジメジメして真っ暗だったがそこを通り過ぎると明るいところに出て“霧が関（えんま）”というところにくると役人がいて何の用だというので閻魔に会って渡し賃の値上げを止めるように頼みにきたと言った
隠居　ほうそれで
与太郎　そしたら役人が閻魔様に会うアポイントがあるかと言ったので、アンパンは食ったがアポイントは食ったことがねえと言ったらそれじゃ通せないというので、棟梁がくれた金を渡すと、今日は特別通してやると言った
隠居　地獄の沙汰も金次第というやつか
与太郎　それで閻魔にあって渡し賃の値上げを止めてくれと頼んだら、閻魔は娑婆での地獄の評判がよくない。一度地獄を見てから、聞くと見るとでは大違いだと帰ってみんなに報告しろと言って地獄案内人をつけた
隠居　どんなところだった？
与太郎　何せ地獄では人を生きたまま釜茹でにするとか、鬼が人を折檻するとか、針のむしろに座らせるとかよくない評判だけなのでビビッた
隠居　それで見たのか？
与太郎　恐る恐る見ると1000人も入るでかい五右衛門釜に大勢の人が入れられていた。これがあの釜茹かと思ったが見るとみんな気持ちよさそうに入っている。案内人が湯は45度に調節してあると言った
隠居　それで次は何を見たんだ
与太郎　オニが人を折檻すると言われているところだ。近づいてみると、人を叩く音と微かなうめき声が聞こえて足が震えた。
隠居　いよいよ地獄を見たのか
与太郎　行って見るとオニではなくてオニイサンが年寄りの肩を叩いて、中には気持ちよくて声をだしている人もいた。
隠居　な～んだ、聞くと見るとでは大違いだ
与太郎　次は“針のむしろ”というところだ
隠居　いかにも痛そうだ
与太郎　近づいて見ると、人々のざわめきの声がする。よほど痛いのかと思って近づ（ばり）いて見るとむしろの上に人が座っている。だがそのむしろは水晶のような玻璃のむしろでみんなで座って花を観ている
隠居　なるほど地獄は見ると聞くとで大違いだ
与太郎　それで三途の川を船で帰ろうとすると閻魔が三途の川の駅で地獄まんじゅうをお土産に買って帰れと行った。それがそのまんじゅうだ
隠居　地獄まんじゅうとは珍しい
与太郎　だが見送りに来た案内人がここは観光客用のコースで、本当の地獄は別の入り口から入る、ところそり教えてくれた

というわけで次回をお楽しみに。



ま～ゆな人

№195 **いっちゃ**こと **林　一六**さん

子供時代

いっちゃさんは昭和14(1939)年 川上村に生まれました。川上村は長野県と山梨県の県境にある村で、水が冷たくてお米の出来ない寒村です。第２次世界大戦の敗戦が昭和20年、そのときは６才でした。お父さんはまだ戦争から帰らず、食べるものも着るものも無い厳しい時代で、学校帰りに友達と野山を駆け回って秋グミの実を探して食べました。

〝少年の飢えの記憶やグミのころ〟

昭和25年 いっちゃさんが小学５年生の時、朝鮮戦争が勃発して、皮肉にも日本の景気が回復しました。日本に米兵が駐屯するようになって、キャベツやレタス、衣類などの特需が起こったのです。寒村だった川上村もこの高原野菜で活気づきました。生で食べる野菜の需要が増して高原野菜の産地となったのです。

学生時代

40名いた中学の同級生で高校に進学したのは８名だけで後は農業を継ぎました。高校では川上村出身ということでいつも気後れしていたそうです。高校の上にまだ学校があることなんて知らなかったのですが、友達が行くというのでいっちゃさんも地方の国立大学を受けてみたところ、補欠で合格になりました。1960年代のことです。その時は大学には行かないで落語家になろうと思い、春風亭柳橋師匠の門を叩きました。「小咄(こばなし)を一つやってみな」といわれて、前もって考えていた小咄をしました。「顔は落語家に向いているが、お前の咄は理屈っぽくていけない。他にまわりな」と言われてしまい、泣く泣く補欠だった大学に入学しました。大学に行ってみると周りの学生はみな就職に有利なように「優、良、可」という成績のうち「優」を揃えようとしていました。ちょっと違和感を覚えました。というのは、国立大学は国民の税金で作られているので、学問によって人々の貧しい状況を改善するのがいいのではないかと思ったからです。３畳で、トイレと台所は共通という部屋を借り、自分で本を読んで過ごしました。お金が無いのでバケツを持って浜辺に行き、漁師が捨てていった秋刀魚を拾ってきて食べました。商品にならない秋刀魚が浜辺に捨ててあったのです。こんな美味しい秋刀魚は食べたことがないと思ったそうです。

卒業した後のこと

学校を卒業して菅平にある研究所に就職しました。そこで生態学という分野を研究しました。生態学とは生き物の社会がどう成り立っているのかを研究することのようです。この分野を勉強しているうちに地球の砂漠化防止を研究するためにアフリなどの国に行く機会がありました。行ってみると、そこでは広大な土地が荒れ果て、人々の暮らしは厳しいものでした。アフリカにも肥沃な地はあるのですが、そこは欧米の企業がパイナップルやコーヒー園などの換金作物を作るため土地を占有しているとお聞きしました。生態学という学問でこれを防止できるだろうか。色々やってみましたが、個別の専門分野だけではどうにもならない、今までの分野には無かったもっと総合的な学問を作らなければならないと思ったそうです。

現在は

研究所を定年で退職した今は裏の畑でタマネギや大豆を栽培して本当に楽しい老後を過ごしているそうです。

ま～ゆに参加

会報に毎号創作落語を投稿されているいっちゃさん。「発表する機会を得られて読んでもらえるのがうれしく楽しい」そうです。

今、ゼーベック発電にはまっていて、「みんなの家」で実演したこともあります。今年 12 月の始め「薪を燃やした熱と、水で冷やした温度差で発電(10V ほど)しました。同時にこの装置で焼き芋を作りました。発電しながら、焼き芋を作る装置は本邦初(?)」と写真付きのメールを出しました。

ま～ゆ市で目の不自由な山本さんにすぐ声を掛けてくださるやさしい いっちゃさんです。

ミーすけ 記

動物たちの声になりたい　その18

№136 にゃんこ先生

この連載も18回目を迎えました

ということは丸3年経ったんです。前に何を書いたか読み返してみたら、「んもうっ、にゃんこ先生ったらいいこと言うじゃん」と何度も目がウルウルしてしまいました。（バカ…。）

マンネリ化しないように工夫しているつもりですが、言いたいことはたったひとつです。

自分がされたくないことを他者にするのはやめようよ。

そうしたら、あらゆる暴力がなくなり、地上から戦争がなくなり、地球の温暖化にも歯止めがかかり…いいことずくめ！

だから、せめて「ミート・フリー・マンデー！」少しでも食卓から肉を減らしてください。

それから、この連載への質問、意見、反論、なんでもお寄せくださいとま～ゆの皆さんにお願いしています。反応がないと、ちょっと寂しいです。お待ちしています。

ヴィーガニズムへの動きは止められない

この会報が発行される12月のま～ゆ市の日、私は東京で毛皮反対デモに参加しています。

今年10月、イタリアファッションを代表する皮革製品ブランドGUCCI（グッチ）がリアルファーの扱いをやめると発表し、大きな話題となりました。毛皮は扱わなくても皮革は扱うわけですが…それでも大きな前進です。他のメーカーに与える影響も大きいでしょう。

世界は確実にヴィーガンな生き方に向かっています。この動きは、たとえどれほど歩みはおろくとも、決して後戻りしないし、誰にも止められない、私はそう確信しています。

現在の日本では、「肉食主義者(ヴィーガン主義者にたいして、肉を食べる人たちのこと)」が全人口の9割以上を占めています。肉食は、当たり前で必要（Natural 、Normal,、Necessary）だという理由で正当化されています。

でも、たった200年前のアメリカでは、それらの言葉で奴隷制度が正当化されていました。黒人専用のバスが全廃されたのだって 1964 年公民権法が制定されてからのことです。

どうか間に合いますように。地球が壊滅的状況に陥る前に。「なぜ人類はもっと早く手を打たなかったのだろう？」「だって肉を食べることを我慢できなかったから」なんていう会話が杞憂に終わりますように

高村光太郎の詩

ぼ　ろぼ　ろな駝鳥（だちょう）

何が面白くて駝鳥を飼ふのだ。
動物園の四坪半のぬかるみの中では、
脚が大股過ぎるぢゃないか。
顎があんまり長過ぎるぢゃないか。
雪の降る国にこれでは羽がぼろぼろ過ぎるぢゃないか。
腹がへるから堅パンも食ふだらうが、
駝鳥の眼は遠くばかりみてゐるぢゃないか。
身も世もない様に燃えてゐるぢゃないか。
瑠璃色（るりいろ）の風が今にも吹いて来るのを待ちかまへてゐるぢゃないか。
あの小さな素朴な頭が無辺大の夢で逆まいてゐるぢゃないか。
これはもう駝鳥ぢゃないぢゃないか。
人間よ、
もう止せ、こんな事は

この詩は、国語の教科書にも載っているらしいですが、私はつい最近知りました。余談ですが、小学生の頃に読んだ高村光太郎の伝記をよく覚えています。特に戦後の７年間を岩手の山中で独居したこと。戦争に協力する詩を書いた自分を責め、冬は雪に閉ざされる厳しい生活を自らに課したのです。

駝鳥を水族館のイルカに置き換えてみてください。

和歌山県太地町では追い込み漁で捕えたイルカを水族館に売っています。そうして得たお金で教育や福祉を充実させるそうです。

映画「ザ・コーブ」で国際的に非難の的にされた追い込み漁ですが、これには400年の伝統があるという人もいれば、戦後、1960年代以降に始まったという人もいます。仮に何千年の伝統があろうが、他者を苦しめる伝統はくそくらえです。

トリ食う年から、イヌ食う年へ

「鳥を食おう！」で始まった酉年は、クリスマスという鶏の大虐殺で終わります。

さあ、来年は戌年です。「犬の肉が食べたい」と言ったら、日本では社会的に抹殺されますが、鶏だって友達です。友達を食べません。

命って何だ、人間ってなんだ。 その１ 猫から教えられた　№50 都々平

もう30年も前のことです。わが家に「当たり前のように」入ってきて居ついたのら猫、その名は“チャチャ„。秀吉の側室茶々さながらに色気たっぷりの美女で、真田丸に出演した竹内結子さんと いい勝負でした(結子さんに失礼？)。

そのチャチャが5年後何かの病気で命を落としました。年齢不詳で、老衰ではなかったと思います。日に日に弱っていき、ある春の日、いつも家族といる茶の間の隅でうずくまっています。突然よろよろと歩きだすので「死に際を見せたくなくて出ていくのだろうか？」と見守っていると、家から出て行った数分後帰ってきて茶の間の定位置に。前足を折る四つん這いのスタイルで静かに死期を迎える姿は“厳か„に(私の目に)映りました。

「ついにきたのかな」皆が注視する中で、「ウーッ」と呻(うめ)き声をあげ、コトンと横倒しになり臨終です。外で汚物を吐き出してきたのでしょうか、どこも汚れがなく、綺麗な容姿を保ったままの最期でした。とても猫と思えないような気高さがそこにありました。

運命を悟り、それに抗(あらが)う邪念など微塵もない潔さに感服しました。〝その時〟の私がこのような境地に達するとは思われないのです。万物の霊長なんて言えたものではありません。そう遠くないいつか、チャチャのように穏やかにお別れできたらいいなと思い願います。

小出裕章先生講演会

講師　元京都大学原子炉実験所助教

放射能汚染から７年
子どもを
被ばくから守るのは
大人の最低限の責任

あれだけのことが福島で起こったというのに、しかもいまだ収束の見通しさえ立たないのに、次々に再稼働する日本の原発。
チェルノブイリ原発事故後、子どもたちの健康被害は十年後にピークを迎えたと言います。日本の子どもたちに申し訳なくて、涙が出ます。

きょん

2018年 2月 4 日(日)

・会場　上田文化会館ホール
上田市材木町Ｉ丁目2-3 ☎0268-22-0760

・開演　13:30 ※開場 13:00

・資料代　予約:500円　当日:800円　高校生以下無料 1歳半から託児あり 1/30までに要予約

主催　NPO法人「子どもの保養サポート・上田」

協力　うえだ環境市民会議・蚕都くらぶ・ま～ゆ・上田市民エネルギー・生活クラブ生協上田支部
上田ケーブルビジョン

後援　上田市・上田市教育委員会・信濃毎日新聞社・信州民報新聞社・東信ジャーナル社
週刊上田新聞社

●問い合わせ ☎070-5029-1055 または 070-5011-1951（西山） E-mail ：tigerpeak＠gmail.com
URL ： http//hoyosapo.wix.com/hoyosapo

【自己紹介】　№421 **松井　務**

戦後ベビーブーム世代の最後です。横浜で 42 年間教師をしていました。昨年より別所温泉に移住して農業者となりました。

うえだ有機楽農会に所属し、有機農法から自然農法を目指しています。持続可能な社会にするにはスローライフを目指すしかない。もう一度、生活の在り方を問い直す必要がある。

「日本は本来豊かな国である。」が持論で、効率は悪いが、山から豊かさを実現する事を提唱する。山を愛し里山を愛し、田畑を愛する。自然からの恵みは無尽蔵である。

力を合わせ、耕し恵みを分かち合って行こうではありませんか。その先には、日本国憲法遵守政権樹立を目指す。日本の平和は世界に誇れる憲法を土台として全ての人が豊かになれる。

ニックネームは「**トム**」さ、と言います。よろしくお願いします。

蚕都くらぶ・ま～ゆ はこんな会です

★ ま～ゆ の参加入会方法

✻ 参加される方は参加申込書に、会費を添えて会事務局に提出してください。
✻ 会員になると次のものが渡されて、即ま～ゆ交換が可能になります。

① **ま～ゆ通帳**　② **会員名簿**　③ **会 報**（偶数月発行）

✻ 会費（年間1,200円）は毎月10日のま～ゆ市（常会）等の会場使用料・会報作成費用・ま～ゆ通信郵送料等に使われます。
＊退会は自由ですが会費はお返ししません。また、ま～ゆ通帳を会に返却していただきます。

★ ま～ゆ交換 の仕方

① お助けは 知り合い又は寿限無（27-1230）に相談して その相手を見つけ 直接連絡します。
大勢に呼びかける「ま～ゆメーリングリスト（ML）」は大変有効で即効性があります。

② あらかじめ交換条件を話し合いましょう。**１ま～ゆ＝１円**を目安にお互いの合意で決めてください。

③ 交換が成立したら、まず自分のま～ゆ通帳に記入してから相手と通帳を交換して、その通帳の右の欄に署名をします。その後必ず「**ありがとう**」と言って**握手**をしましょう。

④ 残高のプラスマイナスは気にせずに大いに活用しましょう。ま～ゆには富豪もサラ金地獄もありません。

⑤ 交換は個人個人の責任で行います。会員ひとり一人がお互いを尊重し信頼関係を大切にすることがま～ゆの原点です。

★ 交流の場

✻ 毎月１０日に『常会 **ま～ゆ市**』を開きます。（会場は中央公民館等）
ここでは会の運営・地域通貨の勉強や説明と会員の情報交換・呼びかけが行われ、「モノ」や「お助け」の交換市があります。

✻ そのほかに、餅つき大会・お花見・生ビール大会・サイクリング等（思いつきも含めて）が催されます。大いに交わりましょう。

✻「この指止まれ」式 の**プロジェクト**（みんなの家・味噌作り等）にも参加して新しい発見をしませんか。

✻ ま～ゆは人材の宝庫です。豊富な知識と技能を持ち合わせた会員を講師に、**ま～ゆ寺子屋**が開かれます（随時）。ま～ゆ市の時にミニ寺子屋が開かれることもあります。

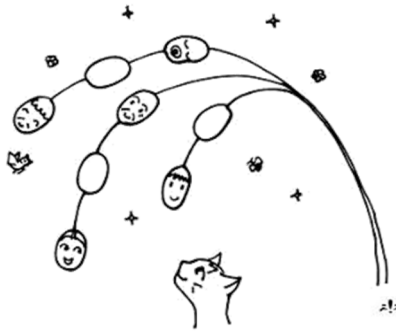
✻「手を挙げれば誰でも世話人」です。
毎月（不定期）の**世話人会**に気軽に顔を出してみましょう。
会の運営をテーマに、✤常会ま～ゆ市のテーマと進行について ✤イベントの企画と役割分担・進め方について ✤各プロジェクトの運営について ✤地域通貨“ま～ゆ„のより良い運用方法について ✤その他、問題が生じた時点で随時、自由に討議を行い、雑談・放談も入った賑やかな会です。

✻ インターネットで最新の情報を
ホームページとメーリングリストで活発な情報交換が行われます。インターネットを活用しましょう。

ま～ゆ 餅つき大会

- ☼ １２月２３日(祝)８時から 寿限無で
- ☼ 持物　　箸、皿、カップ、のし餅を運ぶ板(段ボール可)
- ☼ 会費　　大人５００円＋１００ま～ゆ、
  子供３００円＋５０ま～ゆ
  ※ま～ゆ通帳を持ってこない場合は＋１００円です
- ☼ 参加申込　　寿限無へ 締切り １２月１５日（金）
- ☼ のし餅　　１６００円＋ のし板代 ２００円(デポジット＝返却時返金)

21 日(木)午前 10 時から **会場づくりと米洗い**です。
(※参加者には５００円の手当が出ます)



繭玉ま～ゆ市＆新年会

1 月 6 日(土) 1時30分から　市民プラザ･ゆう

※ 詳細はま～ゆ ML で

2月のま～ゆ市は 10 日(土)夜7時～ 中央公民館で

会費未納の会員さんへ

1 月のま～ゆ市までに年会費 1200 円を納めてください。
ご都合でその日までに納められない場合は会員として継続する意思を事務局にお伝えください。 ☎(0268)27-1230

コロボックル (西山)
No.381 殿下 No.388 キョン
オーガニック･フェアトレードの自然食品を
25 年にわたって自宅で扱っています
代金の10％分 ま～ゆが使えます
上田市古里 699-6 P 2台ほど可能
Tel 0268-27-3903

七田チャイルドアカデミー上田教室 No.11竹田
●体験レッスンの20％まで「ま～ゆ」をお使い下さい
上田市中之条101-1利幸第2ビル201号
TEL23-2952

編集長のつぶやき　　都々平

今年は実り多い年でした。

会報が 100 号の大台に乗り、「繭玉ま～ゆ市」に始まり「お花見ま～ゆ市」「夏まつり生ビール大会」と続いたイベントは「総会＆ま～ゆまつり」までどれも盛況でした。

みんなの家の「カフェま～ゆ廿日市」も、数回催された「○○教室」で参加者の個性が発揮され、初企画の「ま～ゆ文化のつどい」でクライマックスに達しました。

このようにちょい派手さが目立つからか、外から見られているま～ゆは注目の的です。

自主性を重んじるま～ゆの伝統をこれからも絶やすことなく、楽しみながら続けましょう。

会報に携わった人

- 編集長前田光俊
- 記事　安井啓子･前田美枝子･前田光俊･宮崎省吾
- イラスト竹内紀子(カット) 斉藤いつき(表紙)
- 似顔･写真　前田光俊･竹内秀夫
- 校正　古川幸子･前田光俊

代 表　　安 井 啓 子
ま～ゆ連絡先　　前 田 光 俊
〒386-0041 上田市秋和 503-6
TEL (0268) 27-1230
ホームページ　http://mayu.lolipop.jp/santo/